



## 実りの秋、あなたは何を実らせる？

44日間の夏休みも終わり、昨日から前期後半がスタートしました。まだまだ残暑厳しい毎日が続いていますが、暦の上ではもう「秋」です。ライフタウンの至る所にゆく夏を惜しむかのようにピンク色の百日紅の花が咲いています。秋と言えば「読書の秋」「芸術の秋」「食欲の秋」等、いろいろな言葉で表現されますが、暑かった夏に対して、じっくり腰をすえて何かに取り組むには最適の季節です。引地川沿いの田んぼの稲穂も実り、黄金色に輝いている景色を見ることができます。子どもたちにもこの稲穂のように、この秋に自分の夢や目標につながる何かをじっくりと実らせてくれたらと思っています。

### 「小さな変化を見逃さずに」～保護者の皆様へ～

夏休み明けの登校は多くの生徒にとっても心理的負担となりますが、友人との関係や学習等に悩んでいる子どもたちには、なおさら大きなプレッシャーとなります。学校としても再開に向けて、細心の注意を払いながら子どもたちを見守っていきたいと考えております。ご家庭でも特にこの時期は子どもたちのイライラや落ち着きのなさといった小さな変化も見逃さないよう、日常的な会話等を増やしていただければと思います。しかし、悩んでいる子どもたちの中には周りの大人に心配をかけないよう、明確なSOSを発しない場合もあります。故に周囲の大人が普段から自身の『弱み』を明かしていると、子どもは相談しやすくなると言われております。その上で異変を感じたら、否定せずによく話を聴いていただき、必要に応じて学校等にご相談していただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

## 多くの人に感動を与えてくれたパリオリンピック

8月11日夜（日本時間12日未明）、17日間の日程で行われたパリオリンピックが閉幕しました。3年前の「無観客開催」の東京大会とは異なり、明るく祝祭感のある素晴らしい大会だったのではないのでしょうか。改めて「平和」であること、「健康」であることが重要だと感じました。日本の選手も夢をつかもうと、最後まで力を尽くし、躍動する姿を見せました。連覇やメダル獲得など、実力を十分に出し切って期待通りの結果を出した選手、逆に期待がプレッシャーとなり、思うような結果が出せなかった選手、そして、それほど前評判は高くなかったにも関わらず、期待以上に活躍をした選手など、結果はさまざまでした。結果はどうであれ、その笑顔と涙は多くの人々の記憶に刻まれたはずで、だからこそ、私はオリンピックに参加した選手全員に心から拍手を送り、「お疲れ様でした。」と声をかけたいと思います。しかしながら、一部報道によると、負けた結果やその後の態度などについて、多くの人が好き勝手に語っているようです。一番悔しいのは、言うまでもなく本人で、どのくらいオリンピックに向けて準備を重ねてきたのかは本人しかわからないことです。今回の大会でも選手や審判等へのSNSなどによる誹謗中傷が問題となりました。以前であれば、テレビの前でのつぶやきや愚痴で終わっていたものが、現在ではSNSを通して世界中に発信されてしまいます。気持ちは理解できますが、私たちは改めてSNSによって及ぼされる影響を十分に意識して行動すべきではないのでしょうか。そして、子どもたちに対しても、匿名性を悪用して無責任に“言いたいことを言う”人にはなって欲しくないと感じます。



私もこの大会を通して多くの感動をいただきましたが、一番印象に残っているシーンは卓球の早田ひな選手がシングルスで銅メダルを決めた試合直後の場面です。早田選手がその場に座り込んでしまい、涙を流していると、負けた韓国選手が早田選手の方に歩み寄りハグで祝福し、笑顔で言葉を交わしていました。敗戦直後に勝利した選手の気持ちに寄り添える韓国選手の思いやり、優しさ

